

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-23	中学校	数学	数学	1 年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 735	中学数学 1		

1. 編修の趣旨及び留意点

教育基本法ならびに学校教育法の趣旨をふまえるとともに、中学校学習指導要領 第1章 総則及び第2章 第3節 数学 に示された趣旨や目標、内容を基準にして、生徒たちが学習内容を確実に身につけ、意欲的に楽しく数学の学習を進められることをめざして編修しました。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育の目標を達成するために、特に次の点に意を用いて編修しました。

- ① 数学の基礎的・基本的な知識や技能、数学的な見方や考え方を確実に習得し、数学的な真理を求めめる態度を養うとともに、幅広い知識と教養が身につくようにする。
- ② 個に応じて学力を伸ばすことができるようにするとともに、生活や社会と数学との関わりを知り、数学を利用しようとする態度を養うことができるようにする。
- ③ 協働して取り組む活動の場面で、責任をもって自分の考えを伝え、他者の考えを認め、他者を敬う態度を身につけられるようにするとともに、社会の一員としての自覚を培えるようにする。
- ④ 防災、環境、福祉・健康などを数学と関連づけて取り上げ、生命や自然を大切にする態度を養うことができるようにする。
- ⑤ 伝統と文化を数学と関連づけた内容や国際理解を深められる内容を取り上げ、我が国を愛する心や他国を尊重する態度を養うことができるようにする。

3. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	・我が国の伝統と文化を感じさせるさまざまな模様を、図形の学習内容と関連づけて見ることができるようにしました。(第5号)	巻頭見返し①②
	・〈「中学数学」へようこそ〉では、数学を学ぶことで身につく考える力や伝え合う力が「生きる力」となっていくことを伝え、学習意欲を高められるようにしました。(第2号)	巻頭見返し②

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい科学技術である3Dプリンターを紹介することで知的好奇心を喚起し、数学を学ぶことへの興味・関心を高められるようにしました。(第1号) 	巻頭見返し③
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えること、学んだことを生活や社会で利用すること、他者と話し合っって考えを伝え合うことなどを促す〈数学の学習で大切なこと〉を設けました。(第3号) 	P.6～7
1章 正の数と負の数	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・生活をテーマとした特設ページを設けました。(第4号) 	P.19
	<ul style="list-style-type: none"> ・本文で基礎的・基本的な内容を丁寧に扱う一方、理解が早い生徒が進んで取り組むことができる追加問題として、横欄に〈チャレンジ〉を設けました。(第2号) 	P.21～46
	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えたことを他者に伝えたり、他者の考えをもとにその考えを発展させたりする学習活動を取り入れました。(第3号) 	P.50～51
	<ul style="list-style-type: none"> ・環境教育の観点から、空き缶の回収の場面を問題として取り上げました。(第4号) 	P.55
	<ul style="list-style-type: none"> ・正の数と負の数を使った時差の表し方を取り上げ、国際社会への理解を深められるようにしました。(第5号) 	P.56
2章 文字と式	<ul style="list-style-type: none"> ・文字式を学ぶ場面では、身のまわりの具体的な数量を積極的に取り上げました。(第2号) 	P.61, 63, 65, 67～70, 74～75, 82～85
	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多様な考え方を生かしながら学習を進められるようにしました。(第2号) 	P.58～59, 80～81, 90
3章 方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・天びんのしくみと関連づけて等式の性質を理解できるようにするとともに、等式の性質をふり返っていろいろな見方を学ぶ特設ページを設けました。(第1号) 	P.96, 104
	<ul style="list-style-type: none"> ・方程式や比例式を生活の中で利用する場面を問題として取り上げました。(第2号) 	P.106～111, 113, 118
4章 比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳教育の観点から、ペットボトルキャップ集めの場面を取り上げました。(第1号) 	P.120, 160

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
4章 比例と反比例	<ul style="list-style-type: none"> 関数の考えや座標の考えを学習する場面では、身のまわりのことから関連づけて扱いました。(第2号) 	P.120～130, 138, 141, 147, 150～155, 160
	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な課題を解決する場面で、考えを説明したり、話し合いをしたりする活動を設けました。(第3号) 	P.151, 154, 161
5章 平面図形	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統的な模様の一つである麻の葉模様を、平面図形の学習素材として取り上げました。(第5号) 	P.162～163, 171
	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の多様な考え方を生かしながら学習を進められるようにしました。(第2号) 	P.185
6章 空間図形	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えをもとに自分なりに考えたり、考えたことを伝え合ったりする学習活動を取り入れました。(第3号) 	P.192～193, 203
	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な操作活動の場面を設けたり、具体物の写真を提示したりすることで、空間図形の基礎的・基本的な知識を習得できるようにしました。(第1号) 	P.192～195, 196～198, 201～203, 209, 215～217, 220, 巻末折りこみ ①, ②
7章 資料の活用	<ul style="list-style-type: none"> 他者の考えをもとに自分なりに考えたり、考えたことを伝え合ったりする学習活動を取り入れました。(第3号) 	P.225, 240～242
	<ul style="list-style-type: none"> 社会で代表値が使われている事例やコンピュータを使って代表値を求める方法を紹介する特設ページを設けました。(第2号) 	P.236～237
巻末 数学マイトライ	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心に応じて取り組むことができる問題や課題などを用意しました。生徒の自学・自習に対応できるよう、〈数学マイトライ〉には巻末に解答例を掲載しました。(第2号) 	P.247～290
	<ul style="list-style-type: none"> 環境, 防災, 福祉・健康などをテーマとした特設ページを設けました。(第4号) 	P.259～262
	<ul style="list-style-type: none"> 和算に関する課題や、数学は国内外の数学者の努力によって発達してきたことが理解できるコラムを掲載しました。(第5号) 	P.256, 258

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

人権への配慮

- 人権尊重や男女平等などの観点から素材を適切に選定しました。
- 中学生のキャラクター（真央さん、陸さん、彩さん、和也さん）が登場し、学習者の立場で疑問や考え方、説明のしかたの例などを示す場面では、役割を平等に与えました。

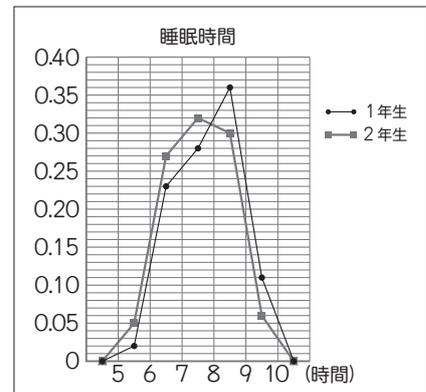
また、発表や話し合いをする場面では、発言者の話をしっかり聞き、その意見を適切に把握し、相手の考えを尊重しつつ、自分なりに考える態度を育成できるようにしました。



▲ P.161

特別支援教育, ユニバーサル デザイン

- 特別支援教育の専門家の校閲を受け、ユニバーサルデザインに配慮した紙面をつくりました。
- 文字の大きさや行間隔は、だれもが読みやすいよう配慮しました。
- ルビはすべて、読みやすいゴシック体としました。
- 文章は、だれもが読みやすい位置で改行しました。



▲ P.242 色だけでなく、点の形や線の太さでも識別できるよう配慮しました。

- 〈例〉に見出しをつけることで、学習内容を理解しやすく、また、復習をしやすくしました。
- 初出の用語を示す文章や重要事項の背面に色をつけたり、学習活動の意図を示すマークをつけたりすることで、紙面にメリハリをつけ、集中して効果的に学習できるようにしました。

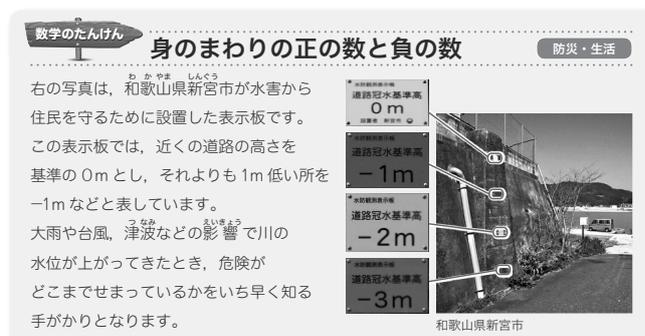
国際理解, 我が国の伝統と 文化

- 数学は国内外の数学者の努力によって発達してきたことが理解できるよう、数学の歴史に関するコラムを多く掲載しました。(P.91, 109, 114, 256, 258)
- 世界文化遺産である富士山(P.12)や国の史跡に指定されている竹田城跡(P.13)、我が国最大の湖である琵琶湖(P.35)など、我が国の国土や文化に対する理解を深められるような素材を多く取り上げました。

環境への配慮

- 資源ゴミ（空き缶、ペットボトルキャップ）の回収、燃費など、環境に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.55, 120, 138, 259)
- 資源保護に配慮し、再生紙を使用しました。

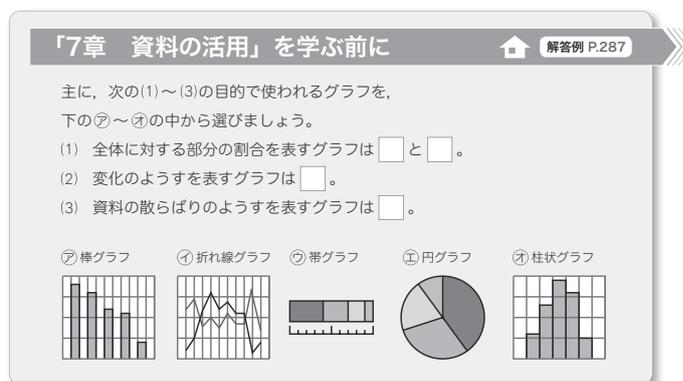
- 防災教育に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.19, 260)



▲P.19

- 健康・スポーツに関する内容や福祉に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.230~231, 238, 240~242, 261, 262)
- 適度な光の反射で目に優しく、ページ増にもなう重量増をおさえる軽さを備えた本文用紙と、人体への影響が少ない植物性インキを使用しました。

- 〈保護者の方へ〉を設け、家庭と学校の連携を図ることを促しました。(巻頭見返し③)
- 家庭での予習・復習に効果的な〈次の章を学ぶ前に〉と〈くり返し練習〉には、家庭学習を促すマークを付けました。



▲P.223

- 小節に〈くり返し練習〉の掲載ページを示すことで、その日の授業内容の復習がしやすいようにしました。
- 家庭学習に対応できるよう、〈次の章を学ぶ前に〉、各章末の問題、及び巻末〈数学 マイトライ〉の問題には、巻末に解答例を掲載しました。
- 生活に必要な数量的な関係や生活に関わる自然現象などを、数学と関連づけて扱いました。(P.67, 217, 224~229 など)
- 読書に関する内容を数学と関連づけて扱いました。(P.246)

- 過去の全国学力・学習状況調査の結果をもとに、生徒が苦手とする内容を、各章の本文や節末、章末の問題などで、いっそう丁寧に扱うようにしました。
- 章末〈とりくんでみよう〉には、特に生徒が苦手とする記述式の問題を〈説明できるかな?〉として出題しました。
- 巻末〈力をのばそう〉の〈A 問題〉、〈B 問題 (活用)〉では、それぞれ過去の全国学力・学習状況調査の A 問題、B 問題で正答率の低かった問題を参考に作成した問題を出題しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-23	中学校	数学	数学	1年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 735	中学数学 1		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

基本的な考え方

生き抜く力を養う

— さらなる学力の向上を実現する —

グローバル化のさらなる進展により、変化の激しい、見通しの立てにくい社会となりつつあります。そのため、一人一人が自立をめざし、主体的・意欲的に取り組むことを通して、生き抜く力を身につけることが必要になっています。そこで、数学を学ぶにあたり、「生き抜く力を養う」ことを目標として設定し、学習指導要領の趣旨をふまえ、さらなる学力の向上を実現することをめざし、特に次の点に意を用いて編修しました。

1 “わかる数学・できる数学”へ

- ① 学習のねらいや内容の展開をわかりやすくすることにより、意欲的な学習活動を促し、基礎的・基本的な内容を確実に習得できるようにしました。
- ② 小中連携・学び直しを大切にすることにより、学習が滑らかに進展するようになりました。
- ③ 個に応じた学習の場面を設けることにより、理解の定着や技能の習熟を図ることができるようになりました。

2 “活用する数学”へ

- ④ 数学的活動を通して学んだことを深めたり、多様な考えに基づいて考察したりする学習展開を取り入れることにより、数学的な考え方が育成できるようにしました。
- ⑤ 言語活動を促す場面を積極的に取り入れることにより、表現力を育てられるようになりました。

3 “探究する数学”へ

- ⑥ 身近なことから数学の関わりや、数学が発展してきた歴史などに関する特設ページを多く設けることにより、数学のよさや有用性を実感できるようにしました。
- ⑦ 様々な課題を提示することにより、探究的な学習活動に意欲的に取り組めるようにしました。

編修上の留意点と特色

1 “わかる数学・できる数学”へ

基礎的・基本的な内容を習得するために

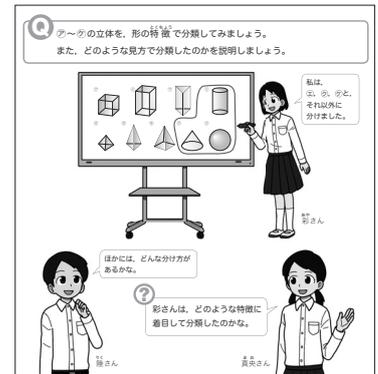
①学習内容の 明確化

○原則として1小節を1時間の学習内容として構成しました。

○各章の導入にあたる**〈章の扉〉**では、学びの必然性・ストーリー性を重視した課題や身近な話によって、学習意欲を高められるようにしました。そこでは、中学生のキャラクターが、学習のきっかけとなる疑問や気づきなどを

②マークのついた吹き出しで示しています。

○**〈例〉**ごとに見出しをつけ、生徒が学習内容を把握しやすくしました。



▲ P.193 (6章の扉)

②小中連携、 学び直し

○既習事項を思い起こすための**〈次の章を学ぶ前に〉**を、すべての章の直前に設けました。1年では、算数との連携を図ることができる内容としています。

○既習事項をふり返ることが有効な場面において、既習事項を示したり、参考になるページを示したりする**〈ふりかえり〉**を設けました。(P.36, 64, 124, 204など)

○巻末の**〈算数をふりかえろう〉**では、算数で学んだ内容をふり返ることができるようにしました。(P.248~255)

ふりかえり ② P.68 例2

$$(\text{道のり}) = (\text{速さ}) \times (\text{時間})$$

$$(\text{時間}) = \frac{(\text{道のり})}{(\text{速さ})}$$

▲ P.110 横欄

③個に応じた 学習

○**〈問〉**を早く終わらせてしまった生徒が自主的に取り組むための追加の問題として、小節の横欄に**〈チャレンジ〉**を設けました。(P.23, 61, 97など)

○学習習慣を定着させるために、家庭学習を促す

🏠マークを設けました。(P.9, 23, 52など)

➡ **チャレンジ** ② 答 P.74

$$(1) -a - 1 + 7 - 2a$$

$$(2) 3x - 5 - 6x + 1$$

🏠
➡ **P.87 くり返し練習** ②

▲ P.73 横欄

○章末には、基礎的な技能の問題である**〈くり返し練習〉**、やや程度の高い**〈とりくんでみよう〉**を設け、個に応じて学習できるようにしました。

○巻末**〈力をのばそう〉**には、全国学力・学習状況調査で正答率が低かった問題を中心とした**〈A問題〉**(P.270~276)、**〈B問題(活用)〉**(P.277~279)と、思考力をのばすための**〈いろいろな問題〉**(P.280~281)を用意しました。

2 “活用する数学”へ

数学的な思考力・表現力を育み、数学を活用する能力を伸ばすために

④数学的活動

○巻頭の**〈数学の学習で大切なこと〉**では、数学的活動や言語活動に取り組むために大切なことを、生徒にわかりやすく伝える工夫をしました。(P.6~7)

○各小節には、次のような学習活動を設けました。

見つけよう …新たな性質などを見つける活動 (P.80~81, 135, 172~174, 233など)

生活への利用 …身のまわりのことがらに数学を利用する活動 (P.50~51, 154~155など)

説明しよう …方法や理由などを説明する活動 (P.81, 136, 195など)

- 横欄の「**考えよう**」には、本文や**〈問〉**などについて、より深く考えるための問いかけを示しました。(P.41, 137, 177, 239 など)
- 「**やってみよう**」には、学んだことを活用して考える課題を示しました。(P.51, 109, 171 など)
- その章で学んだことをさらに深めたり発展させたりする**〈深める数学〉**か、学んだことを使って身のまわりの問題を解決する**〈生活への利用〉**のいずれかを、各章末に設けました。
- 初出の用語を使った表現の具体例を**〈表現の例〉**として示しました。(P.41, 126 など)
- 小節の横欄や小節末などに設けた「**話し合おう**」には、みんなで話し合っ解決する課題を示しました。(P.123, 161, 185, 231 など)
- 章末**〈とりくんでみよう〉**には、方法や理由などを数学的な表現を用いて説明する記述式の問題を**〈説明できるかな?〉**として出題しました。
- 「7章 資料の活用」では、数学的な表現を用いた説明の具体例を、**〈説明の例〉**として示しました。(P.225, 228)
- 巻末の**〈数学レポートをかこう〉**では、数学的活動の過程をふり返り、その成果を共有するためのレポートのかき方を示しました。(P.268～269)

⑤言語活動

3 “探究する数学”へ

数学を学ぶ楽しさや数学のよさを実感するために

⑥生活や社会、他教科との関連

- 〈数学のたんけん〉**には、防災(P.19)、数学史(P.91, 109, 114)、生活(P.236)、情報(P.237)などに関連した興味深い話を掲載しました。
- 他教科に関連する内容を取り上げました。(地理 P.35, 56, 理科 P.150～151, 英語 P.218 など)
- 巻末**〈数学研究室〉**には、思考力、判断力、表現力などを育成するための課題学習を設けました。(P.256, 257, 264～265 など)

⑦中高連携・発展的な学習

- 生徒の興味・関心に応じて、発展的な学習内容に取り組めるようにしました。(P.181, 190～191, 223, 263, 266)

4 その他の配慮事項

道徳教育

- 〈「中学数学」へようこそ〉**では、数学を学ぶことを通して道徳性を養い、自己を向上させることへの意欲を高められるメッセージを掲載しました。(巻頭見返し②)
- 自らの考えを発表し、他者の多様な意見を尊重し、話し合いを通してよりよい考えを作り上げていく展開を重視しました。(P.58～59, 240～241 など)

伝統と文化

- 我が国の伝統と文化に親しみ、国を愛する心が育つような内容を取り上げました。(巻頭見返し①～②, P.162～163, 201, 256, 258 など)

ICT 機器の活用

- 電子黒板やパソコンなどの ICT 機器を活用する内容を掲載しました。(P.193, 203, 237, 241)

今日的な課題

- 防災(P.19, 260)、環境(P.55, 259 など)、福祉・健康(P.261, 262 など)、国際理解(P.10～11, 56 など)といった今日的な課題を、数学と関連づけて積極的に取り上げました。
- 消費者教育に関わる内容を取り上げました。(P.118, 259 など)

領域別の特徴

A 数と式

- 算数の内容など、既習事項を学び直す機会を適宜設け、それをもとに新しい内容を理解できるよう配慮しました。(P.16, 24, 32, 33, 64, 68, 70など)
- 3章「2節 方程式の活用」はページ数を増やし、読式の問題や問題づくりを取り入れるなど、いっそう丁寧に扱えるようにしました。(P.106~114)

B 図形

- 新しい内容を算数の内容と関連づけて学習できるようにしました。(P.175, 204など)
- 2年への接続を意識した内容を扱うようにしました。(P.165の注意, 179の1~8行目など)

C 関数

- 身近で必然性のある場面設定で学習意欲を高めるとともに、関数の考え方を生活の中で利用する能力と態度を養うようにしました。(P.120~121, 154~155など)
- 関数の考え方で事象をとらえ説明する活動を多く取り入れました。(P.123, 125など)

D 資料の活用

- 資料の傾向をとらえ説明する問題解決的な学習展開の中で、必要に応じて用語の意味を理解し、表やグラフをかく技能を習得できるようにしました。(7章全体)
- 資料の傾向をとらえ説明する学習場面では、口述したり記述したりする際の見本を、〈説明の例〉(P.225, 228)や〈彩さんのノート〉(P.231)として示しました。

教科書の構成

巻頭	<ul style="list-style-type: none"> ○この本の使い方 ○数学の学習で大切なこと ○ノートの工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ◎〈巻頭〉は、新年度の当初に行われる数学の授業のオリエンテーションで使うことができる内容です。 ○それぞれのコーナーでは、主体的な学習への取り組み方や言語活動における留意点、ノートづくりの工夫の例などを示しています。
章	次の章を学ぶ前に	<ul style="list-style-type: none"> ○〈次の章を学ぶ前に〉は、既習事項(1年では特に算数で学んだこと)のうち、次の章の学習につながる問題などです。 ○〈章の扉〉は、これから学ぶことのきっかけとなる場面です。 ○〈小節〉は、学習の焦点化を図りやすく、また、復習がしやすいように、原則として1時間の授業の内容で構成しています。 ○〈数学のたんけん〉は、数学への興味・関心を高める話や課題などを扱った特設ページです。 ○節末の〈基本の問題〉、章末の〈章のたしかめ〉は、それぞれの学習範囲の基本的な内容が習得できているかを観点別に評価するための問題です。章末の〈くり返し練習〉は、補充や復習のための基本的な問題です。章末の〈とりくんでみよう〉は、個に応じて取り組むことができる、やや程度の高い問題です。 ○章末の〈深める数学〉、〈生活への利用〉は、各章で学習した内容をもとに、数学的に探究したり、生活の場面で利用したりする、活用のための特設ページです。学校での予備時間などに使うことを想定しています。
	章の扉	
	節	
	本文(小節)	
	数学のたんけん	
基本の問題(節末)		
章末	章の問題	
	<ul style="list-style-type: none"> ○くり返し練習 ○章のたしかめ ○とりくんでみよう 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○深める数学 ○生活への利用 	
巻末	数学 マイトライ	<ul style="list-style-type: none"> ◎〈数学 マイトライ〉は、個に応じた学習を充実させるとともに、主体的に学ぶ態度や学習習慣を身につけさせるためのコーナーで、家庭学習や学校での予備時間などに使うことを想定しています。 ○〈算数をふりかえろう〉は、小中連携を図るためのコーナーです。 ○〈数学研究室〉は、探究的な学習に取り組むためのコーナーです。 ○〈力をのぼそう〉は、全国学力・学習状況調査で正答率が低かった問題を中心とした〈A問題〉、〈B問題(活用)〉と、思考力をのぼすための〈いろいろな問題〉で構成しています。
	<ul style="list-style-type: none"> ○算数をふりかえろう ○数学研究室 ○力をのぼそう 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・解答例 ・さくいん 	

2. 対照表

章	学習指導要領 の内容	該当箇所	配当 時数	
1章 正の数と負の数	A(1)ア	P.10～19	23	
	A(1)イ	P.20～49		
	A(1)ウ	P.20～49		
	A(1)エ	P.50～51, 56		
	数学的活動(1)	ア…P.24, 26, 27, 36, 41, 46, 47, 48 イ…P.50～51 (平均の求め方を工夫しよう), 56 (時差の表し方) ウ…P.29		
	内容の取扱い(1)	P.47～48		
2章 文字と式	A(2)ア	P.58～91	18	
	A(2)イ	P.62～65		
	A(2)ウ	P.72～79		
	A(2)エ	P.66～70, 80～86		
	数学的活動(1)	ア…P.80～81 (数え方を見だし説明しよう), 90 (棒の本数のいろいろな求め方) ウ…P.81, 90		
	内容の取扱い(2)	P.84～85		
3章 方程式	A(3)ア	P.92～95	14	
	A(3)イ	P.96～97		
	A(3)ウ	P.98～118		
	数学的活動(1)	ア…P.101, 112 イ…P.106～111, 113, 118 (方程式の解の意味を考えよう) ウ…P.111		
	内容の取扱い(3)	P.112～113		
4章 比例と反比例	C(1)ア	P.120～123	21	
	C(1)イ	P.124～129, 140～143		
	C(1)ウ	P.130～131		
	C(1)エ	P.124～149		
	C(1)オ	P.150～155, 160～161		
	数学的活動(1)	ア…P.125, 126, 128, 129, 132, 133, 135, 136, 137, 141, 142, 143, 144, 145, 146 イ…P.150～153, 154～155 (紙の枚数を見積もろう), 160～161 (比例とみなして考えよう) ウ…P.123, 124, 125, 136, 141, 151, 154, 161		
5章 平面図形	B(1)ア	P.177～186, 190～191	15	
	B(1)イ	P.162～176		
	数学的活動(1)	ア…P.167, 169, 172, 173, 174, 177, 184, 190～191 (三角形の外心と内心) ウ…P.181, 185		
	内容の取扱い(4)	P.169		
6章 空間図形	B(2)ア	P.192～200	17	
	B(2)イ	P.201～208		
	B(2)ウ	P.209～218		
	数学的活動(1)	ア…198, 199, 209, 215, 216, 222～223 (多面体を研究しよう) イ…P.217 ウ…P.193, 195, 203		
	内容の取扱い(5)	P.204～207		
7章 資料の活用	D(1)ア	P.224～239	11	
	D(1)イ	P.224～242, 246		
	数学的活動(1)	ア…P.233, 239 イ…P.240～242 (資料の傾向をとらえ説明しよう), 246 (借りた本の冊数の比較) ウ…P.225, 228, 231, 235, 240～242, 246		
	内容の取扱い(6)	P.238～239		
(予備時間：21 時間)			合計	119

※予備時間は、学校や生徒の実態に即して弾力的に扱っていただくための時間です。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
26-23	中学校	数学	数学	1 年
発行者の 番号・略号	教科書の 記号・番号	教科書名		
116 日文	数学 735	中学数学 1		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項
181	やってみよう	1	[第1学年] 2 内容 B(1) ア 角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線など基本的な作図の方法を理解し，それを具体的な場面で活用すること。 [数学A] 2 内容 (3) ア(ア) 三角形に関する基本的な性質について，それらが成り立つことを証明すること。
190～191	深める数学 三角形の外心と内心	1	[第1学年] 2 内容 B(1) ア 角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線など基本的な作図の方法を理解し，それを具体的な場面で活用すること。 [数学A] 2 内容 (3) ア(ア) 三角形に関する基本的な性質について，それらが成り立つことを証明すること。
223	やってみよう	1	[第1学年] 2 内容 B(2) ア 空間における直線や平面の位置関係を知ること。イ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり，空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。 [数学A] 2 内容 (3) イ 空間における直線や平面の位置関係やなす角についての理解を深めること。また，多面体などに関する基本的な性質について理解し，それらを事象の考察に活用すること。
263	数学研究室 立体の切り口	2	[第1学年] 2 内容 B(2) イ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものととらえたり，空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を読み取ったりすること。
266～267	数学研究室 2つの資料の関係を 読み取るう	1	[第1学年] 2 内容 D(1) イ ヒストグラムや代表値を用いて資料の傾向をとらえ説明すること。 [数学I] 2 内容 (4) イ 散布図や相関係数の意味を理解し，それらを用いて二つのデータの相関を把握し説明すること。

(発展的な学習内容の記述に係る総ページ数 7)

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上，隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても，当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上，どの学年等でも扱うこととされていない内容